

会 議 録

1 会議名

平成29年度第4回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1) 協 議（公開）

(1) 平成29年度上越市地域活動支援事業（追加）の審査について

ア. プレゼンテーション

イ. 個人審査（採点）

ウ. 全体審査（採択の可否、補助金の決定）

(2) 他団体との意見交換会の開催について

(3) 平成29年度安塚区地域協議会視察研修について

(4) 安塚区地域協議会としての審議内容について

2) 報 告（公開）

(1) 地域懇談会の開催について

(2) 市民と市長とのキャッチボールトークについて

(3) 7月1日からの大雨に伴う対応状況等について

3) その他（公開）

3 開催日時

平成29年7月3日（月）午後6時から午後8時まで

4 開催場所

安塚区総合事務所3階301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委 員：池田嘉久、石田ひとみ、數井憲一、國保信夫、小松光代、中島勝義

中村真二、長谷川直樹、秦克博、松苗正二、松野等、山岸重正

- ・事務局：安塚区総合事務所 山崎所長、市川次長、横尾市民生活・福祉グループ長
(併教育・文化グループ長)、國保班長、高島主事

8 発言の内容（要旨）

【市川次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：數井憲一会長

【數井憲一会長】

- ・挨拶

協議事項（1）平成29年度上越市地域活動支援事業（追加）の審査について、プレゼンテーションから採点までの流れの説明を事務局に求める。

【高島主事】

平成29年度上越市地域活動支援事業（安塚区）追加募集の審査について説明する。今年度の地域活動支援事業は、当初募集において安塚区の配分額520万円に対し、補助決定額が335万円となり、185万円が残ったことから、6月5日から6月23日まで追加募集を行ったところ、3団体からの提案があった。地域活動支援事業提案書受付一覧のとおり、今回審査いただく提案団体は3団体、補助希望額の合計は184万円、追加募集額に対して1万円少ない状態である。このあと各提案団体によるプレゼンテーションを行うが、1団体の持ち時間は10分間である。多少時間は前後するかと思うが、6時40分までに終了したいと考えている。その後、採点票による個人審査を行うが、時間は15分程とし、6時40分から6時55分までを予定している。委員の皆さんから採点票を回収したあと、事務局で集計を行うが、20分程かかるので、その間休会とする。集計が終わり次第、会議を再開し、地域活動支援事業の全体審査で、提案事業の採択の可否、補助金額について協議をお願いしたい。

続いて、プレゼンテーション及び審査方法について説明する。プレゼンテーションを行う順番は、資料No.1にあるとおりである。1団体の持ち時間は10分間であり、提案事業の説明は5分間とし、終了の30秒前と5分到達時にそれぞれベルでお知らせする。その後、委員の皆さんによる質疑応答となる。質疑応答の途中で5分経過した場合

は、その時点の質問の回答が終わるまでとする。次に委員の皆さんによる個人審査だが、事前に配布している平成29年度安塚区地域活動支援事業の採点票に記入をお願いしたい。最初に基本審査の適合する、適合しないのどちらかにチェックしていただき、適合しないとした場合は、「適合しない理由」を必ず記載して、以下の審査項目の採点を行わないでいただきたい。次に採択方針との適合性について、適合する、適合しないのどちらかにチェックをお願いしたい。「適合しない」とした場合は、以下の採点を行わないでいただきたい。(3)の共通審査基準の審査について、審査項目の審査基準ごとに5段階で評価していただき、その評価を踏まえて1点から5点の範囲で採点していただきたい。その際、2点以下の採点をした場合は、その他の特記事項欄に劣っている理由を必ず記載していただきたい。採点が終わったら、記入漏れがないか今一度確認をしてから事務局に採点票の提出をお願いしたい。

プレゼンテーションに移る前に、今回の提案事業について、提案書において不明確の部分を事務局で確認したことを補足説明させていただく。まず、直峰城跡登山道木製階段補修事業の階段補修の施工業者である緑企画についてである。緑企画は、直峰城跡保存会から直峰城跡に係る草刈りなどの管理を委託されている構成員が5名程の安塚集落の有志の団体である。団体としての活動の開始時期は不明だが、3年は確実に直峰城跡の管理を請け負っているとのことである。続いて、沼木の里づくり推進事業についてである。常設するトイレについては、1000ℓのタンクを備えた汲取り式の水洗トイレを整備予定であるとのことである。また、駐車場などの整地の際に使用する重機を朴葉会という団体から借り上げる計画だが、朴葉会は朴の木集落における任意団体であり、重機も集落が保有するものとのことである。

【数井憲一会長】

何か質問等あるか。(「なし」の声あり)

それでは、プレゼンテーションを開始する。

(直峰城跡保存会入室)

【直峰城跡保存会】

(直峰城跡登山道木製階段補修事業の提案書に基づいて説明)

【数井憲一会長】

取り替えた後の木製階段は廃棄するのか。

【直峰城跡保存会】

下の駐車場にある管理棟にまとめて置いておく。

【數井憲一会長】

取り替えた木製階段の処理は見積業者である緑企画の業務に含まれているのか。

【直峰城跡保存会】

含まれている。

【數井憲一会長】

ほかに質問等あるか。（「なし」の声あり）

質問等ないので、終了とする。

（直峰城跡保存会退室）

それでは、次、朴の木自治会お願いします。

（朴の木自治会入室）

【朴の木自治会】

（沼木の里づくり推進事業の提案書に基づいて説明）

【池田嘉久委員】

提案書に展望広場と駐車場の材料としてグリズリアンダー材 18 m³とあるが、駐車場の大きさはどのくらいか。

【朴の木自治会】

砂利はローラーで締め固めても何度か通るうちに浮いてきてしまうが、グリズリアンダー材は、天気が良いと固まり、なおかつ砂利に比べて安価で購入できるため、今回使用することとした。駐車場は、車10台程停められる大きさを想定している。

【長谷川直樹委員】

朴の木は雪深い地であるが、トイレの設置場所は、集落より山間部に予定されている。トイレの屋根は三角形であり、雪への対応は考えていると思われるが、雪が降るとトイレは雪にすっぽりと埋まってしまわないか心配である。冬に何回か点検を考えているのか。

【朴の木自治会】

冬の点検はしなければならないと考えている。

【國保信夫委員】

棚田カフェは何人程の入込となりそうか。

【朴の木自治会】

今年度も昨年度に引続き、小学生に柳葉ヒマワリの植栽を手伝ってもらったが、今回は中学生も手伝ってくれた。当日は小・中学生とその父母の参加が見込まれ、また、朴の木住民によるミニコンサートも実施するため、昨年の倍以上の150～160人程の入込みがあるのではないかと。

【國保信夫委員】

棚田カフェの周知はするのか。

【朴の木自治会】

集落でチラシを作成するとともに、昨年同様、同日に開催するNPO雪のふるさと安塚主催の黄金の回廊のチラシにも掲載予定である。また、上越ケーブルテレビや上越タイムスが取材に来ていただける予定である。

【山岸重正副会長】

設置するトイレは、水洗トイレでなくても良いのではないかと。

【朴の木自治会】

トイレは、設置場所が山間部なので完全な水洗トイレとはいかないが、排泄物が1000ℓ溜まったら汲み取るという構造である。来場者がたくさんいれば、トイレ1つで足りないかもしれないが、今年は様子見として1つとした。

【數井憲一会長】

トイレは、冬の管理だけでなく年間通して維持管理しなければならないが、集落での合意形成は成されているのか。また、蛍鑑賞会にも使用されるとのことだが、見積書には、照明用電灯等の業務が含まれていないようである。夜は暗くて使用できないのではないかと。

【朴の木自治会】

日々の維持管理は集落で対応する。また、夜間のトイレの照明については、集落でトイレの外に蓄電式のセンサーライト等を設置する予定である。

【中島勝義委員】

水洗トイレを使うだけの水はどこから確保するのか。

【朴の木自治会】

トイレは常時使うわけではないので、タンク等に、ある程度水を溜めておく予定である。また、利用が多い場合等は、ホースで水を引っ張ることも可能である。

【數井憲一会長】

ほかに質問等あるか。（「なし」の声あり）

質問等ないので、終了とする。

（朴の木自治会退室）

それでは、次、安塚商工会青年部お願いします。

（安塚商工会青年部入室）

【安塚商工会青年部】

（安塚商工会青年部地域活性化事業の提案書に基づいて説明）

【小松光代委員】

これまでも歩行天まつりでかき氷を販売していたと思うが、その際、かき氷機や冷水ストッカーはどうしていたのか。

【安塚商工会青年部】

これまでは業者からレンタルしていた。昨年もレンタルで対応していたが、当日しか冷水ストッカーをレンタルできなかったため、倉庫に仮置きしていた氷が溶けてしまった。他のイベントへの出店も視野に入れて、自分たちで自由に使用できる物が必要ということで今回申請させていただいた。

【小松光代委員】

今回初めて、町内会・自治会単位で実施しているイベントである灯の回廊へ出店予定とあるが、出店場所は考えているのか。

【安塚商工会青年部】

出店場所は未定だが、商工会の脇辺りといった町内会の邪魔にならないような場所で実施できればと考えている。

【松苗正二委員】

綿菓子機とポップコーンマシンもこれまでレンタルか。

【安塚商工会青年部】

綿菓子機は所有しているが、調子が悪く綿菓子がうまく作れない。ポップコーンマシ

ーンは所有していない。

【松苗正二委員】

綿菓子機やポップコーンマシンを購入した場合、リースと異なり衛生面等しっかりと管理しなければならないと思うがどう考えているか。

【安塚商工会青年部】

綿菓子機については、煮沸して殺菌処理等をしているので、今回購入する備品についても同様に衛生管理をしていく。

【長谷川直樹委員】

各種イベントに出店して販売するとあるが、収益は出るのか。

【安塚商工会青年部】

射的の景品代等の経費と相殺されるので、収益は出ないが、そもそも、利益を目的とした活動ではない。

【長谷川直樹委員】

収益が出て悪いとは言っていない。多額の収益があった場合は、ぜひ地域に還元していただきたい。また、灯の回廊は、年々出店数が減っているので、ぜひ出店していただきたい。

【池田嘉久委員】

地域活動支援事業において、備品は原則レンタルすることとあるが、購入する場合とレンタルする場合はどちらが安いかな等の検討はしたのか。

【安塚商工会青年部】

細かく精査していないが、射的でいえば、年2回レンタルすると約1万4千円であり、なかなかの負担となる。年に1回だけの出店であれば、レンタルでも良いのだが、毎年している2回の出店に加え、今後も各種イベントに出店していきたいと考えているので、購入したいと考えている。

【石田ひとみ委員】

購入する備品のメンテナンスについては考えているのか。

【安塚商工会青年部】

メンテナンスについても、よく検討していないが、どの備品も特殊な物であるため、不具合が出ると早急に対応できない。修理等については、購入先にお願いしたいと考え

ている。

【石田ひとみ委員】

毎回使用後に備品を点検するとは思いますが、いざ使用する時に使えないというのでは困る。そういった場合にすぐ対応できるように、修理や備品の部品等を扱っている業者を確認しておいていただきたい。

【國保信夫委員】

個人的には、用具を整備して各種イベントへ出店し、地域活性化を図ることを目的とした当事業には大賛成である。頑張っていていただきたい。

【數井憲一会長】

保管場所は考えているのか。

【安塚商工会青年部】

商工会館の2階に倉庫があるし、商工会で別に保管場所があるので心配ない。

【數井憲一会長】

ほかに質問等あるか。（「なし」の声あり）

質問等ないので、終了とする。

（安塚商工会青年部退室）

それでは、今から15分ほど時間をとるので、先ほどのプレゼンテーションを踏まえ、採点票の記入をお願いしたい。

（採点表記入）

【數井憲一会長】

採点票の記載にまだ時間が必要な者はいるか。

（「なし」の声あり）

事務局に採点票の回収をお願いする。

（採点表回収）

これから事務局で採点表の集計をするので、集計が終わるまで休会とする。

（休会）

【數井憲一会長】

それでは、採点表の集計が終わったので、全体審査を行う。資料N o 1-2「追加募集採点結果一覧」の1番から順に検討をお願いしたい。まず、直峰城跡保存会の直峰城跡

登山道木製階段補修事業について協議する。平均点の合計が18.3点で、事業費56万8千円に対して、申請額が56万円である。採択の可否について、いかがか。

（「採択でよい」の声あり）

採択でよいか。（「はい」の声あり）

補助金額については、いかがか。（「補助希望金額全額でよい」との声あり）

全額採択でよいか。（「はい」の声あり）

何か意見はあるか。（「なし」の声あり）

意見は、付けないこととしてよいか（「はい」の声あり）

続いて、朴の木自治会の沼木の里づくり推進事業について協議する。平均点の合計が17.3点で、事業費87万8千円に対して、申請額が87万円である。採択の可否について、いかがか。（「採択でよい」の声あり）

採択でよいか。（「はい」の声あり）

補助金額については、いかがか。

【中島勝義委員】

棚田カフェが計画通りうまくいけばよいのだが。

【松野等委員】

資料No.1-2「追加募集採点結果一覧」の特記事項等欄にあるとおり来客用や業者のお茶代は対象外経費なのではないか。

【事務局】

作業に参加した人へのお茶代については、募集要項にもあるとおり対象経費に含まれる。また、「地域活動支援事業に関するQ&A」に、地域の活性化を図ることを目的としたイベント等への参加者に対して配布する商品等は経費の対象となる。金額の目安は200円以内とあるので、この点を考慮して検討いただきたい。

【數井憲一会長】

事務局の説明にあったように、来客や業者用のお茶代等は対象としてよいか。

（「はい」の声あり）

ほかに意見はないか。（「なし」の声あり）

全額採択でよいか。（「はい」の声あり）

付帯意見はあるか。（「なし」の声あり）

最後に、安塚商工会青年部の安塚商工会青年部地域活性化事業について協議する。平均点の合計が17.8点で、事業費41万3千円に対して、申請額が41万円である。採択の可否について、いかがか。（「採択でよい」の声あり）

採択でよいか。（「はい」の声あり）

補助金額については、いかがか。（「補助希望金額全額でよい」の声あり）

全額採択でよいか。（「はい」の声あり）

以上で全3団体の審議が終了したので、採択の内容について確認する。

直峰城跡登山道木製階段補修事業は、補助金額56万円とし、付帯意見はなし。

沼木の里づくり推進事業は、補助金額87万円とし、付帯意見はなし。

安塚商工会青年部地域活性化事業は、補助金額41万円とし、付帯意見はなし。

追加募集額である185万円に対して、採択額が184万円であった。1次募集と合わせると採択団体は10団体、安塚区の配分額520万円に対して採択額519万円であった。安塚区における平成29年度上越市地域活動支援事業（追加）の審議については以上である。

続いて、協議事項（2）他団体との意見交換会の開催について協議する。昨年度の第10回安塚区地域協議会で、少子高齢化に伴う灯の回廊の運営スタッフの高齢化や人員不足について協議したが、このことについて他団体と協議したいと考えているので、委員の意見を伺いたい。

【國保信夫委員】

他団体とはどこを想定しているか。

【數井憲一会長】

灯の回廊の実施主体は町内会・自治会のため、昨年度の第10回安塚区地域協議会では町内会長等との意見交換を想定していたが、他にも小中学校のPTAやその他地域で活動している団体等、様々考えられる。

【長谷川直樹委員】

こういった団体であっても意見を交換することは良いことだと思うが、意見交換会を実施するに当たり、1つ提案したい。今回、安塚区における地域活動支援事業の1次募集では、提案団体の補助申請額が安塚区の配分額に満たなかった。地域協議会委員としては、配分額を超えて提案があると審査が大変であるが、地域活動を活発に行ってほしい

という観点からいうと、1次募集の時点で配分額を超えるほどの提案があってほしい。そこで、町内会長・自治会長に地域活動支援事業の趣旨等を説明して、1次募集で配分額を満たすようにしたい。

加えて、安塚区においては、地域の方々が提案しやすいように、提案する際の補助希望額を1件10万円以上から1件5万円以上に要件を下げた経緯があることから、今後も提案の際の要件を下げることはできないか。具体的には、安塚区は防犯灯のLED整備事業については、市の補助事業を活用するものとし、地域活動支援事業の対象としていないが、2次募集時には対象にするといった措置も必要ではないか。

【數井憲一会長】

意見交換会で、地域活動支援事業についても協議するという案は貴重な意見であるが、地域活動支援事業の提案要件を変更することについては、また次の機会に協議したい。

【松野等委員】

意見交換会を実施するのであれば、検討する課題を地域協議会で協議し、協議会としての考えを提示するための準備が必要である。

【國保信夫委員】

長谷川委員の言うように、地域活動支援事業について協議することは良いことだと思う。実際に町内会や自治会は、地域活動支援事業をどのように考えているのか、また、町内会や自治会は地域協議会に何を望んでいるのかなどを伺いたい。

【池田嘉久委員】

私の町内会でも会合の際等に小学校や医療のことといった地域の課題を話しているので、どこの町内会でも地域の課題に対する意識はあると思う。数ある課題の中から議題を絞って意見交換をすべきである。

【數井憲一会長】

それでは、町内会長、自治会長と意見交換会を行うこととしてよいか。

（「はい」の声あり）

内容については、昨年度の第10回安塚区地域協議会で協議した灯の回廊についてと先ほど長谷川委員から提案のあった地域活動支援事業について2つに絞って、委員の皆さんと協議していきたいと思うが、それでよいか。

（「はい」の声あり）

時期はいつ頃がよいか。

【松野等委員】

稲刈り後がよいのではないか。

【數井憲一会長】

稲刈り後という案が出たが、それでよいか。（「はい」の声あり）

10月頃でよいか。（「はい」の声あり）

【山崎所長】

明日（7/4）上越市内の全町内会対象の町内会長まちづくりの集いが開催されるが、その後に、安塚区の町内会長協議会を実施する予定なので、その際に町内会長に地域協議会が10月頃に意見交換会を申込みしたい旨の連絡をしてよいか。

【數井憲一会長】

事務局からの提案のとおりとしてよいか。（「はい」の声あり）

続いて、（3）平成29年度安塚区地域協議会視察研修について協議する。昨年まで、視察のテーマや内容等については、事務局が2～3案を提示し、その中から行先や内容等を選んでしたが、今年は、委員自ら行先や研修内容の案を出したいと考えている。

【小松光代委員】

委員で研修内容を決めるということは良いことだと思うが、視察の行先を決めるにもまず、はじめに委員の私たちが何を学びたいかを検討しなければならない。

【數井憲一会長】

小松委員の言うとうおりである。そこで、委員の中から視察研修班を決め、視察研修の内容等を検討していただきたいと考えているが、それでよいか。（「はい」の声あり）

人選は私の一存でよいか。（「はい」の声あり）

それでは、石田ひとみ委員、長谷川直樹委員、秦克博委員にお願いしたい。

以上の3名でよろしいか。（「はい」の声あり）

続いて、協議事項（4）安塚区地域協議会としての審議内容について、事前の提出があったか事務局に確認する。

【市川次長】

事前の提出はない。

【數井憲一会長】

この場でもよいが、委員の提案等を求める。

(「なし」の声あり)

続いて、4の報告事項について事務局に説明を求める。

【山崎所長】

(1) 地域懇談会の開催について資料No.2に沿って説明

(2) 市民と市長とのキャッチボールトークについて資料No.3に沿って説明

(3) 7月1日からの大雨に伴う対応状況等について説明

【數井憲一会長】

続いて、5のその他だが、なにか意見等あるか。

【長谷川直樹委員】

ある安塚区民から6月30日に実施された戦没者追悼法要において、市長や市議会議員が出席しているのに、地域協議会委員が誰も出席していないのはいかなものかという意見があったので報告する。

【數井憲一会長】

切に受け止める。

- ・他に意見を求めるが意見なし
- ・次回地域協議会開催日(8月22日)を確認
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL: 025-592-2003 (内線23)

E-mail: yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。